

令和2年度第5回公民館運営審議会議事録

令和2年度第5回公民館運営審議会は、新型コロナウイルス感染防止対策として、対面方式の会議を開催せず、書面のやりとりを通して意見と回答を交換して議事録まで作成する一連の流れを1回の会議として行った。

以下、この方法による会議を書面会議という。

1 第5回会議の流れ

資料送付	令和3年1月14日（木）
委員からの意見提出期限	令和3年1月29日（金）
議事録作成	令和3年3月5日（金）

2 出席者

（委員）

勝田委員長、田中副委員長、柘委員、永井委員、大川委員、軽部委員、廣瀬委員、杉田委員、西村委員、松浦委員、林委員、越村委員

3 議 事

下記議題については、書面会議として資料に基づき、委員から提出された意見・質問に対して回答を行った。その内容は別添のとおり。

（1）報告事項

1）公民館主催事業実施結果報告（10月～12月）

(別添)

令和2年度第5回浦安市公民館運営審議会

意見・質問及び回答一覧

(1) 報告事項

1) 公民館主催事業実施結果報告(10月～12月)

(1)報告事項 公民館主催事業実施結果報告(10月～12月)

	ご質問・ご提案・ご感想	回 答
1	<p>(中央公民館) スマートフォン教室が相変わらずの人気ですが、高齢者は特にスマホの使用方法がよくわからないのが一般的です。その点この教室は教え方もわかりやすく全員が理解できるまで待ってくれてその場で聞けるのが嬉しい。各公民館で分散するのも良いと思います。</p>	<p>好評に応えるべく上級者向けの教室や回数を増やす等の工夫をしていきたいと考えています。</p>
2	<p>(中央公民館) スマートフォン教室に参加することができて基本操作することが出来(まだ途中) コロナのために休止になりましたが講師、スタッフの方たちがわかりやすい説明で毎回参加するのが待ち遠しいです。また、有難いです。</p>	<p>おかげさまで当該事業は、今年度コロナ禍で募集定員を減らしての開催にも関わらず、100人を超える応募をいただくほど大盛況な事業となっています。本来であれば、更に上級者向けの教室等も考えていたのですがコロナ感染症の関係で中止となってしまい、非常に残念に思います。</p>
3	<p>(中央公民館) 子供たちにとって、科学はとても魅力的です。実際に手で触れて目でみて、耳で聞く、においを鼻で嗅ぐことにより五感を使う能力が高まります。今後もぜひ続けてください。</p>	<p>子どもたちを対象とした科学に関する講座は、引き続き、他館も含め行っていきたいと考えています。</p>
4	<p>(中央公民館) 事業はどれもニーズが高いものと推察され、とても素晴らしいと感じた。しかし「科学って楽しいぞ！」の写真を見るとどれもドアが閉まっていて、換気が十分にできているのだろうかと思なった。</p>	<p>中央公民館の換気システムは、常時換気システムを設置しており、1時間あたりで室容積の3割以上の空気を入れ換えています。また、事業実施中は窓を開け、休憩中にもドアを開けるなど換気対策には十分注意をはらっています。</p>
5	<p>(中央公民館) 「科学って楽しいぞ！」3倍近い応募があったとのこと。楽しいことを欲していた子どもたちにとって「待ちに待った」講座だったのではないかと。主催事業が開催できるようになったら、子どもの興味をひきそな講座をどんどん企画して欲しい。妊婦さん・ご家族、新生児・保護者対象の「産前産後de自分Style」。参加者多数で申込みを断られた人もいたと聞く。密にならないよう人数制限は重要だとは思いますが、今のように楽しみ事が少ない状況下では多少の融通が欲しかった。人気が高い事業は同時期に他公民館で企画してみてもいいのでは？(人気のあるなしの判断は難しいと思いますが)</p>	<p>コロナ禍の中、事業を進めるうえで人数制限等の制約が生じ、参加をお断りする状況が出てしまったことは主催者側としても申し訳なく思っています。今後は、多くの方から関心をいただいている事業については、他の公民館でも実施を検討し市民のニーズに応える学習環境づくりを展開していきたいと考えています。</p>

6	<p>(中央公民館)「産前産後deじぶんStyle」講座は大変素晴らしい企画だと思いました。核家族がノーマルな現代において、出産・子育てに不安だらけの人たちにとっては、この様な学びの場は大変良かったでしょう。ほかの公民館でも取り入れられてはと思います。</p>	<p>出産前、出産直後や子育てについて抱える悩みや不安について、座談会形式で先輩パパ・ママさんのお話を伺ったり、講話形式で専門的な立場の方のお話を聞くなど、毎回のテーマに沿った形で実行委員が企画をたてての開催となっており、参加者からは大変好評な事業となっています。</p>
7	<p>(中央公民館)興味のある事業がいっぱいあるのに、コロナで休止になっているとは残念です。産前産後deじぶんStyleとか子育て応援等、コロナ禍であっても”今”の時期に必要な講座は開催できたらいいですね。母推でも、今はなかなかお母さんたちの応援が出来ずにいます。求めている新米ママさん、パパさんの助けになってあげてほしいです。</p>	<p>この様に市民ニーズの高い事業、高い評価をいただいている事業については、他の公民館でも実施を検討し市民のニーズに応える学習環境づくりを展開していきたいと考えています。</p>
8	<p>(堀江公民館)「きぼう青年学級」の課題の欄に「最も効果的な事業を今後も継続して検討していきたい」と記載されています。よりよい事業(学級)をめざして、現時点でどのようなことが(どのように)検討されていますか?また、検討プロセスにおいて、学級生も参加できるような仕組み(機会)はありますか?差支えない範囲で結構ですので、検討の状況について教えてください。</p>	<p>市の障がい担当課や他市の実践例などを参考にボランティアさんなどスタッフの意見を取り入れながら企画運営を行っているところです。事業に参加した学級生からは聞き取りを行い、振り返りの際に学級生に報告するなど参画した実感が持てるような工夫も行っています。</p>
9	<p>(堀江公民館)「きぼう青年学級」は就労している知的障がい者への活動を毎回、すてきな企画を行っている事に感激します。支えているボランティアの方の活動も含め素晴らしいと思います。大変でしょうが続けて下さい。</p>	<p>コロナ禍で市外への研修ができないなど制限が多い年となりましたが、集まってくる学級生の笑顔に触れるたびに、今後も続けていくべきであるとの思いを強く実感しています。</p>
10	<p>(堀江公民館)「おそとでたのしむえほんのじかん」は天候にも恵まれ、親子ともに楽しめたとのこと。とてもよい企画だと思う。私事で恐縮ですが、3.11の震災後、図書館が長く閉館していたため、近隣の公園でごく小規模な私設図書館、おはなし会を開催し、実感したことだが、参加者は戸外で絵本や紙芝居を楽しむという「スペシャル感」を得られる。非常時、娯楽が少ない時期であれば、喜びはさらに増す。今回はさらに、3密を防ぐ目的も達成できるので、他公民館でもぜひ実施して欲しい。(その際、図書館スタッフだけでなく、やむを得ず活動自粛中の子ども向けサークルさんにも声をかけてみてはいかがでしょうか)</p>	<p>それぞれの公民館の環境に応じた実施方法を検討していきたいと考えています。</p>

11	<p>(堀江公民館)「おそとでたのしむえほんのじかん」について、今後も開催されるのであれば、今のような寒い時期や悪天候の場合には中止をするのか、他の開催方法を考えるのかお伺いしたい。10月・11月では好天に恵まれる場合が多いが、真夏や真冬、梅雨、台風シーズンの時期の開催について考えられているのかが気になった。</p>	<p>屋外での事業については、温度や天候に左右されることがあり、同じ時間帯に室内でもできるような準備をしています。今後開催する場合にも、同様の対応をしていきたいと考えています。</p>
12	<p>(堀江公民館)「おそとでたのしむえほんのじかん」 天候の課題もありますがコロナ禍ならではの発想ですね。参加する方も安心して楽しまれたと思います。</p>	<p>たまたま天候が良かったこともありましたが、親子ともに楽しい時間を過ごせたものと考えております。</p>
13	<p>(堀江公民館)学校の冬休みもあって、子供たちを対象とした事業が多かった。それぞれの公民館で工夫があり良かった。特に堀江公民館では図書館と共催で「おそとでたのしむえほんのじかん」はコロナ禍に外で実施する素晴らしい企画と思いました。</p>	<p>屋外での事業は感染予防対策になり、また、非日常的な体験を通して親子ともに健やかな時間が作れたものと考えています。</p>
14	<p>(富岡公民館)「ボクシング・エクササイズ入門、江戸入門」は今女性に人気の体力づくりの一つです。歴史は面白いので読み解く楽しみがあります。どちらも参加してみたい一つです。</p>	<p>この講座は応募者が多く倍率も高くなっています。今後はより多くの人に参加していただけるよう検討してまいります。</p>
15	<p>(富岡公民館)「初めてのハンゲル」講座は、自主的にサークルが立ち上がったということで、大変素晴らしい講座だったと思う。課題に書かれている、「ついてこられない人が出てきてレベルを合わせる工夫が必要である」という点は、長年語学を教えている者として非常に共感できる。講師の方もよく理解されていると思うが、ある程度の差が出てくることに関しては仕方がないので、レベルを合わせるというよりは、苦手な方でも楽しんでもらえれば良いと考えてはどうだろうか。全員が同じレベルになることは非常に難しいので、得意な受講者から教えてもらったりするなどして、苦手な方でも講座に来てよかったと思ってもらえればよいのではないかと思う。</p>	<p>受講者同士が教えあうことで、コミュニケーションがとれ、講座の活性化が図られる部分があると思いますが、講座の限られた時間ではなかなか難しい面もあります。今後は講師と講座の進め方など一緒に考え調整してまいります。</p>
16	<p>(富岡公民館)多文化を理解する学習も各公民館の主催事業に出来たらと思います</p>	<p>2月2日に「ドイツ文化講座」を開催する予定でしたが、緊急事態宣言により残念ながら中止となってしまいました。今後はより多くの多文化を理解してもらえよう、7館で内容を調整し事業を進めてまいります。また、オンライン講座も視野に入れ検討してまいります。</p>

17	<p>(美浜公民館) 園芸ボランティアを募り花壇づくりがこれまで発展したことがうれしい。隣の幼稚園との交流にも繋げてほしい。例えば「入園・卒園式に花壇の花で作ったフラワーアレンジを贈る」など。興味を持った幼稚園の親子も園芸に加わって楽しい異年齢交流になればと思う。</p>	<p>花壇の植生が順調に定着するように、園芸ボランティアの方々と協力して進めていきたいと思っています。また、委員のご意見をボランティアに伝えて、さらに地域貢献に繋がられるよう活動してまいります。</p>
18	<p>(美浜公民館) 「親子でドレミ」の参加者の声【＝公民館の感染予防対策に対する姿勢に信頼を得て安心して参加できた】に表れているように、各館とも、定員制限・消毒・換気など感染の防止に細心の注意を払いながら事業を実施している様子が伝わってきました。職員の皆さんに敬意を表したいです。</p>	<p>今後も感染対策を怠らず、主催事業にみなさんが安心して参加していただくことができるよう、より一層の準備と対策を行ってまいります。</p>
19	<p>(美浜公民館) 「しめ縄づくり」日本ならではの伝統文化、最近では藁を見ることも触ることもできないので貴重な体験だったと思います。</p>	<p>今後も日本の伝統文化を伝える講座を企画してまいります。</p>
20	<p>(美浜公民館) 無断キャンセルの対応ですが、材料が無駄になったり、せっかく講師が用意していただいたその方のお気持ちを考えると残念な気持ちになります。よって、事前に参加費を支払う方法にするべきであると考えます。</p>	<p>当日無断キャンセルの問題は以前からの検討課題となっていますが、事前に費用をご持参いただくことと利便性との兼ね合いで実施していないのが現状です。 今後は、当選者への通知の際にキャンセルの場合は材料費を徴収することを明記してまいります。</p> <p>(参考) 材料費徴収について他市の公民館(7館)を電話での調査をしましたが、1市を除いて当日支払でした。また、キャンセル分についても徴収しておりませんでした。(2/4現在)</p>
21	<p>(美浜公民館) 「郷土博物館共催 しめ縄づくり」の課題として、欠席者の材料費の扱いに関することが記載されています。こうした課題は、他館(他事業)においても直面するものであり、浦安市の公民館としての一定のルールをつくる必要があるではないでしょうか。いくら少額であっても、講師(材料を準備する方)に損失が生じたり、担当職員が自己負担をしたりすることはあってはならないと思います。</p>	
22	<p>(富岡公民館・美浜公民館) 残念に思う事 以前にも問題になりましたが料金がかかる講座のキャンセルや無断欠席があります。この件ですが参加通知を受けたら支払いをもって参加決定にしたら良いのでは。キャンセル、欠席される方は大きな金額がかからないと思っているかも知れません。</p>	

23	<p>(富岡公民館・美浜公民館) 富岡公民館の「ミドル・シニアのための釣り入門講座」、美浜公民館の「郷土博物館共催 しめ縄づくり (有料講座)」においてキャンセルが出た問題は、回収されたのか、損金が発生したのか、どのような処理をされたのですか。もしルールが無いのであれば、統一されたルールを設けるべきだと思います。</p>	
24	<p>(富岡公民館・美浜公民館) 「釣り入門講座、しめ縄づくり」の当日無断キャンセルについて工夫が必要とあるが、このキャンセル問題はだいぶ前から指摘されており、まだ何の対策も取られていないのかと思った。そろそろ対策をとらないと、いつまでも同じ問題が繰り返されると思う。</p>	
25	<p>(当代島公民館) 「一番わかりやすい! 憲法のおはなし『檻の中のライオン』」の課題の欄に「この講座をどのように今後につないでいくかが課題である」と記載されています。憲法について学ぶことはとても大切なことであり、そのための機会をつくることは公民館の役割でもあると思います。本講座に参加された方と話し合い、一緒に(市民参画で)、次の憲法講座を企画してほしいです。また、本講座をきっかけに、ほかの公民館にも憲法の講座が広がっていくことを期待しています。</p>	<p>ご指摘のとおり、市民と一緒に憲法講座を企画することは公民館事業でとても重要だと思っております。今回の講座に関しては、単発での開催だったこともあり、参加者同士のつながりをもてるようなワーク等を取り入れておらず、市民参画まではいきませんでした。今後は参加者のご意見なども参考に企画してまいります。</p>
26	<p>当代島と高洲公民館で人権講座が開催されました。当代島では「ステイホームってどうだった?」コロナ禍での問題をうきぼりにした4人の講師の話とディスカッションは素晴らしい企画でした。高洲公民館では「ワンダー君は太陽」の映画を鑑賞して次の週に映画に対する講演と意見交換が行われ、これも素晴らしい企画でした。人権講座は集客の面では工夫が必要と思われませんが、大事な講座と思っていますので続けて下さい。</p>	<p>人権講座を含む現代的課題の講座の集客については、従前からの課題であり、開催日時を土日に設定したり、保育を付けるなどの工夫しているところです。しかし、オンライン配信の講座で、ある程度の参加者数が見込めたこともあり、今後は受講場所を問わないオンラインを取り入れ、一人ひとりに合った方法で受講できるよう努めていきます。今後も、地域の人権意識向上につながるような講座の運営を継続してまいります。</p>
27	<p>(当代島公民館) 「パパと一緒にリトミック」父親の育児参加が理想です。継続できたら自由にお休みが取れる夏休みに企画されたらよいと思います。</p>	<p>父親が参加しやすい日程等の検討にあたり、参考にさせていただきます。</p>
28	<p>(当代島公民館) 秋の青空えほんの時間は最初から室内開催でも良かったのでは</p>	<p>以前より図書館分館において屋内で毎週読み聞かせを行っていますので、当代島公民館の施設の特性を活かし、敷地内にある芝生広場において、季節や外の空気を感じながら読み聞かせができたという思いから企画したものです。</p>

29	<p>(当代島公民館・堀江公民館) 「外での本の読み聞かせ」。幼児の成長はコロナ警戒下でも、待ったなしなので「安全な外での本の読み聞かせ」は浦安の新しい生活習慣として広まってほしい。</p>	<p>図書館と連携を図りながら、今後も継続していきたいと考えます。</p>
30	<p>(日の出公民館) 「ひのでイングリッシュラボ～Eeラボ～」は学校で学ぶのではなく自然に英語の世界に、文化や流行に触れることで強くなり海外に目が向くようになれば理想に思います。</p>	<p>ご意見のとおり自然に多文化を知ることは、本講座のねらいの一環でもあります。今後も参加者の多文化への興味関心などを育むことができるよう、講師・担当職員一丸となり、本講座に取り組んでまいります。</p>
31	<p>(日の出公民館) 「陶芸体験講座」について、「講師がイケメンとの意見もあった」との記載があるが、講座と全く関係のない容姿についての意見を書く参加者もどうかと思うが、それをこのような報告に載せるのは不適切ではないかと思う。</p>	<p>陶芸体験講座は作陶から本焼きまで全5回の講座で、参加された皆さんが粘土を練って自分のイメージするオリジナル作品を作ることで、作品が出来上がり窯を開けたときの個々の感情については作った本人しか味わえないくらいに感動的であったため、参加者の声をそのまま書かせていただきましたが、今後は配慮します。</p>
32	<p>(美浜公民館・日の出公民館) シニア対象事業が各公民館でそれぞれ工夫してあった。参加者も多かった。その中で地域の社協の協力を得て美浜と日の出で行っている「いきいきサロン」は良い企画だと思います。特に日の出で行っているサロンは地域限定で、公民館に歩いて行ける範囲の方を対象にしているので、顔見知りも多く和気あいあいです。シニアは遠くの公民館に通うより、近くの公民館で同様の事業を望んでいると思います。</p>	<p>浦安市社会福祉協議会海浜2支部と日の出公民館の共催事業「シニアサロン ひのでCafé」は平成27年度より開催しており、参加者の皆さんに地域の集いの場としてご理解を頂いていると感じています。大型の集合住宅が多い住環境から、公民館で出会ったことをきっかけに、日々の交友関係に発展していく様子も伺うことができます。 美浜いきいきサロンは、美浜地区在住者を対象としており、東1支部の皆さんのご協力のもと運営しております。 シニア世代の地域参加を促し、参加者同志の交流を深め、生きがいをづくりを支援しています。今後も楽しく参加できるようなプログラムを社協とともに作っていきます。</p>
33	<p>(高洲公民館) 「孫が10倍輝く写真の撮り方」は 今後はスマホで写真の撮り方 講義+実践で海浜公園とかに出向いて撮ってみるも良いと思います。</p>	<p>今後、同様の講座を開催する際の参考にさせていただきます。</p>
34	<p>(高洲公民館) 「親子事業」「シニア対象事業」についてドローン講座は小学生講座、シニア講座ともに人気が高かったと聞く。女性参加者が少なかったと記載があるが、小学生向けプログラミング講座も女子は1人だった。システムエンジニア等の職種に男女差はない。興味ある女性は少なくないはず。チラシに男女両方のイラストを添えるなど、工夫してみてはいかがでしょうか。</p>	<p>特に制限を設けておりませんが、女性が少ないのが現状で、主催者側も残念に思います。チラシのイラストなどについて今後工夫していきたいと思います。</p>

35	<p>(家庭教育学級)「子育てミーティング」の参加者が少ない。若い子育て世代が、本当に「知りたい知識」「こんな体験ができるなら他の親とも会いたい」と思う本音をつかみきれていないのでは？120分の枠全部を子育て環境を語り合うことだけに使わず「子育て知識を得る時間」と「子育て中の親自身の心身の健康」の2本立てにしてみてもいいのでは？この世代に人気のピラティスやボクササイズ、腰痛講座やDIYなど、親のリフレッシュをかねての「子育てミーティング・家庭教育学級」は可能でしょうか。親子サークルなどに協力してもらい本音の要望を聞き取ったり、やってみたい企画をまかせてみてはどうでしょうか？</p>	<p>家庭教育学級は、参加者が主体となって事業プログラムを組み立てています。一方、趣味や趣向が先行して趣味のサークルとならないよう担当職員がプログラム作成のお手伝いをしています。すでにヨガやハンドメイドなど自分をリフレッシュさせるプログラムを子育ての息抜きとして取り入れている学級も見受けられます。</p>
----	--	---

(2)その他 公民館主催事業実施結果報告(10月～12月)

	ご質問・ご提案・ご感想	回 答
1	<p>厳しい状況下でも各館いろいろな対策を取りながら実施できたことは非常に良かった。</p>	<p>コロナ禍の早急な終息を願っておりますが、今後も公民館の利用制限や主催事業の縮小などご不便をおかけするかとと思いますが、よろしく願いいたします。</p>
2	<p>今、コロナ渦の中で、これだけの活動数を実施されたことに、感謝申し上げます。実施までの過程に並々ならぬご配慮、準備、ご努力をされた事と拝察いたします。</p> <p>活動内容につきましては、コロナ感染拡大の状況下では、限られたアイテムの活動に特化することは、やむを得ない賢明な選択と考えます。これから終息の目途が立った時点で、活動の幅を広げる事が必要と考えます。</p>	
3	<p>感染警戒下でも主催事業への参加者が減らず、アンケートでも「開催してくれてうれしい」「安心して参加できた」との声が多かった。公民館主催事業が市民に安心安全な「信頼のブランド」と受け止められている事がうれしい。職員さんの感染予防意識が高く維持されていることに敬意を表したい。</p>	
4	<p>コロナ禍が長く続き外出自粛生活を楽しく元気に過ごす工夫をしながら生活を送っています。また、早く収束することを願っています。普通の生活、色々な活動、学習が出来ますように。</p>	
5	<p>コロナ禍において事業を組む事は大変なエネルギーだったと思います。安全を第一にコロナに負けない沢山の講座でした。</p> <p>講座の写真があると様子が伝わります。感染予防対策も万全でした。</p>	

6	<p>報告書が写真とイラストで事業内容がおもしろく伝わってきました。そして無断キャンセルの事も・・・</p> <p>この報告書を、公民館のロビーなどに置いて、皆さんにもものぞいてもらえば、事業内容等図書館しか利用していない方々にアピールになるのではないかと。無断キャンセルが、とても迷惑である事に気づいてもらえるのでは？と思いました。</p>	<p>今後は事業の開催結果報告としてロビーでの掲示、ホームページ等での掲載していきたいと考えております。</p> <p>無断キャンセルについてですが、講座開催にあたり、主催者側の準備（材料の調達など）等の裏側の業務が伝わっていないと感じました。まずは、開催結果報告同様に講座の企画から準備も含め、講座開催までの過程を皆様にお伝えしていきたいと思っております。</p>
7	<p>コロナ禍の中、様々な工夫と努力がうかがえ、公民館の皆様ありがとうございます。一日も早く収束し、今までのように公民館が明るい笑顔にあふれる場であるように祈念しています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。</p>	<p>公民館として徐々にオンライン講座を行っておりますが、まだまだ手探り状態で事業を行っております。</p> <p>これからも忌憚のないご意見をお願いいたします。</p>
8	<p>公民館は幼小中学校と近接していることが多いので、公民館に集う人材や知恵がもっと気軽に学校との交流に生かされるとよいと思う。</p> <p>例えば中学校の夏休み期間に「帰宅部さん（部活に所属していないので家にいる生徒さん）」や「支援学級生徒さん」を対象に「囲碁・将棋」「おもちゃの病院」「陶芸」「料理」など、多様な交流が考えられるのではないのでしょうか。各校にいる学校コーディネーターは、学校と地域を繋ぐ役割に定めるため、人材や企画の情報を求めている。この主催事業一覧表が役にたつかも知れない。</p>	<p>今年度から教育政策課を中心にコミュニティスクールの検討が始まるなど、協働・連携の視点に基づく新たな学校・家庭・地域の協働体制づくりが課題であると感じています。</p>
9	<p>今、非常事態宣言が発令されている中で、多くの事業活動を実施する事が良いのか？</p> <p>*基本体系ごとに、最も住民皆様にとって、将来を見据えた事業か？</p> <p>生活上欠かせない事業か？今 実施する事が必要な事業か？（参加者の多少では無い）選択して行ったら？</p> <p>*様々な活動形態は有るかと思いますが、公民館活動は人と人が向き合ってお互いを感じて接する場と考えて居ます。</p>	<p>コロナ禍での主催事業の企画運営につきまして、委員のご指摘のとおり、定員を削減しても実施することが必要な事業なのか、オンラインなどの新たな手法を生かして実施する事業なのか選択し、実施してまいります。</p>
10	<p>今、コロナ禍で公民館は休止して利用ができないが、地域住民が公民館休止を本当に望んでいるのか。このような状態の中で公民館事業を活用する方法はないのか。</p>	<p>コロナ禍の中、公民館がどのように活動したらよいか戸惑うばかりでした。現在はコロナ禍が1年経過し、オンライン講座を徐々に進めております。ただ、パソコン等が利用できない方は参加することができず、学習の機会の格差が生じているは否めません。今後、この格差をどうなくしていくのが課題であると考えています。</p>

11	<p>今、公民館としてコロナウイルス感染に関して何が出来るのか？ *新型コロナに関する情報発信、感染防止策???</p>	<p>基幹病院として多くの患者さんを診療されている医師をお招きし、コロナウイルス感染症とどう向き合い、どう付き合っていくのかを解説いただく講座をオンラインでの講義に変更して行います。</p>
12	<p>公民館運営審議会には3年続けて参加していますが、今までは報告事項を各館長から報告を受け、それに対する意見を皆様の前で発表していました。今回は新型コロナの影響でこの様なかたちでの発表となったのですが、文章にするために今までよりもじっくり時間をかけ、よく考えての発表となり、これもまた良かったと思いました。</p>	<p>本来であれば、委員の皆様にご参集いただき貴重なご意見を頂戴できればと考えていましたが、このような形となりました。今後、どのようになるかわかりませんが、よろしく願いいたします。</p>
13	<p>過去の公運審でZoomを利用した双方向性の主催事業の提案をさせていただいた。縁あってこのたび社会福祉協議会主催の「フレイル（＝体の機能低下）予防オンライン体操」に参加したが、講師はZoom配信が精一杯で画面上の参加者ひとりひとりに声がけしたりという双方向性の実施については難しそうだった。ただ、画面上で多くの方が自分と同じように体を動かしているのがわかると励みになるし、何より楽しい。Zoom操作に慣れたシニアの方は一握りだと思うが、操作に慣ればきっと楽しみが広がる。すぐに活用できる実践的なシニア対象のスマホ・パソコン講座をこの先も継続して欲しい。前回の緊急自粛宣言でZoomに慣れ、今回もすぐ、Zoomレッスンに切り替えたサークルさんは少なくない。自主的に活動を継続できるのは頼もしい限り。しかし、そうしたことができないサークルさんには公民館としてなんらかの手を差し伸べてもらえたら嬉しい（公民館スタッフの皆様もご多忙の中、なかなか難しいと思いますが…。シニアの方の多いサークルさんはこのまま活動できなくなるのでは、と心配です）</p>	<p>コロナ禍のなか、利用休止や主催事業の縮小などご不便をおかけしております。可能な事業につきましては、オンラインや動画配信などの手法を利用して実施していくことの必要性を感じています。実施にあたりましては、受講者側の環境も必要となりますので、今後もスマートホンやパソコンの講座をより充実させてまいります。また、講座開催だけでなく、公民館職員として、窓口などを通じてできる限り相談やお手伝いができるよう努力してまいります。</p>
14	<p>来年度は、浦安の文化や歴史に触れることができる主催事業が増えることを期待します。 ・浦安言葉（浦安弁）を知ろう ・浦安の歴史を知ろう ・昔の浦安の風景 など</p>	<p>地域の文化や歴史を学ぶことは、地域コミュニティ活性化の基本であると考えます。今後、郷土博物館と連携した事業を検討します。</p>

15	<p>緊急事態宣言の発出を受けて、「休館」（2/7まで）や「主催事業の中止」（2月末まで）が決定したとのことですが、休館中であっても、昨年（2020年）の経験を活かして、工夫を凝らしながら、市民の「つながる機会」や「学ぶ機会」を絶やさないように踏ん張ってほしいです。Twitterによる情報発信、オンラインに切り替えての講座開催など、新しいチャレンジを応援しています！</p>	<p>コロナ禍のなか、利用休止や主催事業の縮小などご不便をおかけしております。講師や会場の関係から可能な事業につきましては、延期やオンラインでの開催などにより充実してまいります。</p>
----	--	---